

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

Vol. 27, No. 9 ACTA UROLOGICA JAPONICA September 1981

泌尿器科紀要

第27巻 第9号 1981年9月

傍腎盂嚢胞 (Peripelvic cyst) の画像イメージ診断法.....	岡田 裕作・ほか	1061
トルロブシス尿路感染症.....	竹内 秀雄・ほか	1071
Adenine phosphoribosyltransferase 部分欠損症による		
2, 8-dihydroxyadenine 腎結石の1例.....	竹内 宣久・ほか	1079
副睾丸部に認められた Seminoma の1例.....	坂本 亘・ほか	1087
Carboquone, Cytosine Arabinoside の		
膀胱内注入療法による重症薬物 shock の2例.....	和志田裕人・ほか	1093
Carboquone と Cytosine Arabinoside の		
併用による膀胱内注入の再発予防効果.....	香川 征・ほか	1099
NCS 膀胱内注入療法.....	小林 徳朗・ほか	1103
膀胱腫瘍に対する Adrimycin の膀胱腔内注入療法.....	佐々木秀平・ほか	1109
Aclacinomycin A による膀胱内注入療法の経験.....	執印 太郎・ほか	1119
前立腺癌に対する peplomycin の臨床効果.....	久住 治男・ほか	1125
Ethinylestradiol 内服による前立腺癌症例の		
gonadotropin 抑制効果及び臨床効果に関する検討.....	丸田 浩・熊本 悦明	1133
前立腺癌に対する EE-4(Ethinylestradiol) の使用経験.....	斉藤 泰・ほか	1143
前立腺肥大症に対する CH-62 (酢酸クロルマジノン		
25 mg 錠) の臨床効果		
—前立腺超音波計測を中心として—.....	斉藤 雅人・ほか	1147
神経因性膀胱症例に対する横紋筋弛緩剤の		
尿水力学的検査法による効果判定		
—横紋筋弛緩剤アフロクェロンについて—.....	福井準之助・ほか	1153
尿路変更術後の機能低下腎に対するイソソルバイドの使用経験.....	近藤 和秀・ほか	1163



禁帯出

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

到着後 1ヶ月間

編集後記

われわれ手術をするものにとって解剖学は基本をなすものであり、乏しいあるいは不正確な知識では“不完全な海図で、あるいは海図なしに航海するようなもの”である。したがってわれわれは、解剖学書を座右において常に自分の知識を brush up しているし、さらにより広汎な、より多くの解剖学の知識を吸収し、自己の経験と泌尿器科学の進歩とを integrate させて自分自身の Urological Anatomy をもつよう心掛けるべきであろう。

しかしわが国の解剖学者は必ずしもわれわれを満足させてくれないし、臨床を指向した解剖学を教えようとしている人は少ない。また臨床では余り用いない用語や、納得できないものもある。

日本語で書かれた解剖学教科書としては、医学生にもっともよく読まれていると思われる本に「尿管の上部の粘膜下組織には尿管粘液腺 Glandulae mucosae ureteris があり、粘液を出す。」と記されている*。全く何をかいわんやである。(O. Y.)

(* 解剖学3 感覚器学, 内臓学, 改訂第10版, 214頁, 金原出版)

購読要項 (1981年1月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込む。

投稿規定 (1981年1月改定)

1. 投稿: 連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿: 泌尿器科学領域の全般にわたり総説, 原著, 症例報告, その他で和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き, 楷書, 当用漢字, 現代かなづかい, 平がなとし, 清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で, 普通名詞は小文字で始め, タイプし, 年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題, 著者名, 所属機関名の順に和文, 英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田: または 山田・ほか:)と, 2語(例: 前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ロ) 英文抄録: ダブルスペースでタイプし, その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし, 原稿の表紙に標題, 著者名, 所属機関名, key words (和文に準ず), running title (和文に準ず)の順にタイプし, 別に標題, 著者名, 所属機関名, 抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し, 単位は m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C, pH などとする。

(5) 図, 表, 写真などはすべて別紙とし, 写真はトリミングする。説明は和文, 英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとし, なるべく英文とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し, 誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

(6) 引用文献は必要最小限にとどめ, 引用箇所を本文中に入れる。和文は楷書で, 欧文はタイプする(例: 山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)。

雑誌の場合—著者名(全員): 題名, 雑誌名, 巻: 最初頁~最終頁, 発行年。

単行本の場合—著者名(全員): 題名, 書名, 編集者名, 版数, 巻数, 引用頁, 発行所, 出版地, 発行年。

(7) 原稿は書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。

(8) 校正は初校を著者による責任校正とし, 再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

(9) 編集部は原稿の訂正, 書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

3. 掲載

(1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。

(2) 紙代, 印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし, 請求は論文掲載誌発行後に行なう。

(3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器具の使用などにかんする研究論文については, 掲載料を別途に申し受ける。

4. 別刷

実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する。

編集委員: 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
園田 孝夫 友吉 唯夫 桐山 奮夫(副主幹) 吉田 修(主幹)

泌尿器科紀要 第27巻 第9号 1981年9月25日 印刷 1981年9月30日 発行
創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤二

発行 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入